

ロボット・内視鏡外科C開設

ダビンチ2台を効率運用

恵佑会札幌

白石区の恵佑会札幌病院(鈴木康弘理事長、久須美貴哉院長・220床)は、ロボット・内視鏡外科センターを開設。多科連携のもと、ダビンチXi2台を駆使して、効率的な運用とスタッフの育成に力を入れている。

同病院は、2012年 拡大。消化器外科・泌尿に道内2番目にダビンチ 器科・呼吸器外科の3科を導入し、腹腔鏡下根治 腎、膀胱、肺、縦隔腫瘍 的前立腺全摘術を開始 した。その後、1台を加 え、道内初の2台体制の 症例数は2千例に迫つて いる。

19年実績は泌尿器科2 50件、消化器外科63件、 呼吸器外科50件と、前 年比101件増の363 件を数え、1日に3件行 うことも珍しくないとい う。

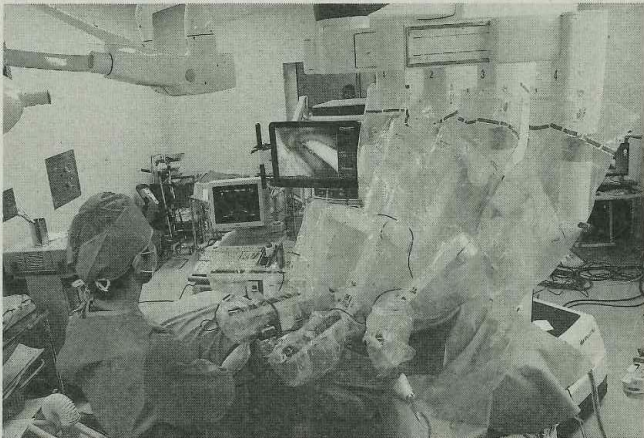
泌尿器科と呼吸器外科 に比べ、消化器外科は、 がん切除後の再建が必要 なため、より時間を要す の経験と実績に基づき、 センターは、これまで

ロボット手術の安全性の 確立と術者への教育・指 導という重要な役割も担 う。同病院には、各領域 で標準的な技量を取得 し、ロボット支援手術を 指導できるプロクターと して、北上英彦センター 長をはじめ、平川和志副 理事長(泌尿器科)、鈴 木理事長(呼吸器外科) の3人が認定されてい る。

ダビンチを導入する 際は、各学会が提言 する指針に則り、製造 販売会社が定めるト レーニングコースの受 講やCertification の取得が求められる。 Certificationは、製 造販売会社が公認する特 定の施設で症例見学する ことで取得可能だが、認

定施設は限られている。 同病院は、泌尿器科は 見学施設に、消化器外科 はさらに格上のメンター サイト(関東以北では唯 一)に認定されており、 道外からも見学者を受け 入れ、同病院プロクター が他施設に向いて指導 するケースも多い。 医師だけでなく看護 師、臨床工学技士とい ったスタッフも経験豊富 で、高い技術を有してい るもの、また認知度が 低い、市民や開業医 向けの説明会などを通し て、理解を得ていく考え だ。一方、病院の移転新 築工事を進めており、新 棟ではダビンチ3台目の 増設や、専用手術室の整 備などを計画している。

Hospital & Clinic



プロクターに3人が認定されている

